

平成27年度
千曲市教育委員会事務の点検及び評価報告書
(平成26年度実績)

千 曲 市 教 育 委 員 会

目 次

1	はじめに	1
2	実施方法	2
3	点検と評価結果 (自己・内部・外部・総合評価)	5
4	点検及び評価を受けて	7
5	評価表	8
	評価の意見	14
6	資 料	
	教育委員	15
	教育委員会基本方針	15
	平成26年度教育委員会議及び議決案件一覧	18
	教育委員会事務分掌	22

1 はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）の一部改正により、平成 20 年 4 月から教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表をしなければならないとされました。（同法第 26 条第 1 項）また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとするとしています。（同法第 26 条第 2 項）

千曲市では平成 21 年度から、市が行う行政評価による自己評価、外部評価のご意見及び総合評価結果を活用して千曲市教育委員会事務の点検及び評価を行っています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律【抜粋】

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

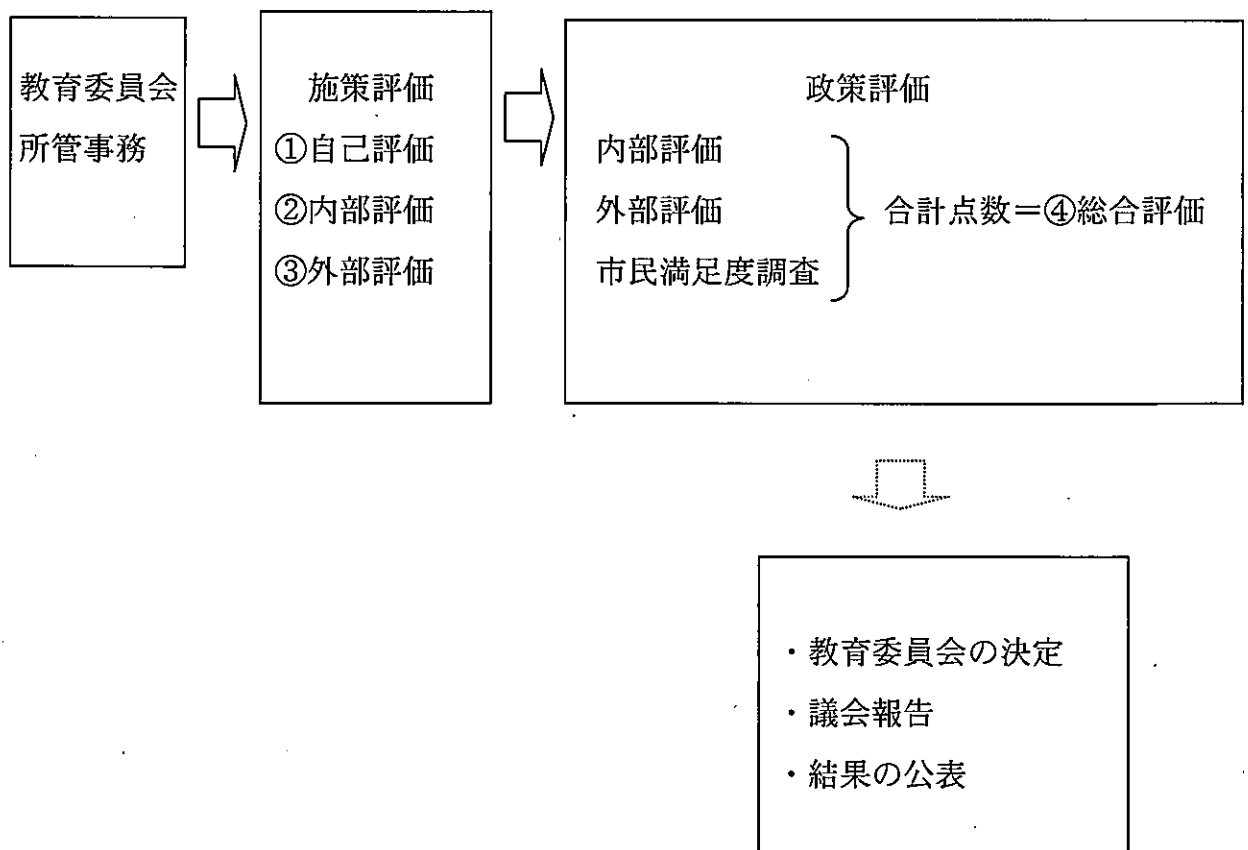
2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 実施方法

(1) 点検及び評価の方法と手順

点検及び評価の対象となる事業は、千曲市行政評価対象事業中の教育委員会に権限が属する事業です。

- ① 担当課長は、各事務事業の指標（目標）の達成状況を踏まえて、4段階に**自己評価**をします。
- ② 各部で、自己評価を検証し、各施策評価について4段階に**内部評価**をします。
- ③ 外部評価委員会は、「施策評価表」及び「内部評価表」について、**外部評価**をします。
- ④ 各部において「関係課の評価」及び「外部評価委員会の評価」を踏まえて**総合評価**を行い、行政評価を確定します。



(2) 総合評価の方法

内部評価・外部評価の評価指標、市民満足度調査の満足度スコア平均値から、施策ごとの評価点数を算出します。

【表1 内部評価・外部評価の評価点数区分】

内部評価・外部評価の指票	評価点数
A 期待以上の成果あり	4点
B 概ね期待どおりの成果あり	3点
C 期待をやや下回る	2点
D 期待をかなり下回る	1点

【表2 市民満足度調査の評価点数区分】

市民満足度調査の満足度スコア平均値	評価点数
2点超～	4点
1点超～2点以下	3点
0点超～1点以下	2点
0点以下	1点

施策ごとの評価点数の平均値を政策ごとの評価点数とし、3項目（内部評価、外部評価、市民満足度調査）の合計評価点数から進捗状況を明らかにします。

【表3 進捗状況区分】

3項目の合計評価点数	進捗状況
9点超 ～ 12点以下	全体的に順調
6点超 ～ 9点以下	比較的順調
3点超 ～ 6点以下	努力を要する
3点以下	格段の努力を要する

(3) 行政評価「外部評価委員」 (五十音順)

委員氏名	所属団体名(委嘱当時)
唐澤伊和男	NPO法人千曲の森
武田 敏光	(社)科野青年会議所
塚田 實	千曲市行政改革推進委員会
轟 慎夫	千曲市民生児童委員協議会
中澤のり子	千曲市女性団体連絡協議会(ともども戸倉21)
中村 潔	千曲国際交流協会
宮澤 淳治	千曲市子ども会育成連絡協議会
若林 正樹	千曲市観光協会

3 点検と評価結果

施策評価（自己・内部・外部・総合評価）

施策名	政策2 ふるさとの自慢を未来に継ぐまちづくり						
主要事業	自己評価		内部評価		外部評価		総合評価
個別目標・主要施策	評価指標		評価指標		評価指標		政策の進捗状況
1 歴史・文化財 ① 貴重な文化財を守る ② 文化財保護意識の啓発・育成をすすめる (歴史文化財センター)	B	概ね期待どおりの成果あり	B	概ね期待どおりの成果あり	B	概ね期待どおりの成果あり	比較的順調

施策名	政策4 のびのびと社会にはばたく人が育つまちづくり						
主要事業	自己評価		内部評価		外部評価		総合評価
個別目標・主要施策	評価指標		評価指標		評価指標		施策の進捗状況
2 教育 ① 子どもたちみんなが楽しく学べる学校をつくる (教育総務課)	B	概ね期待どおりの成果あり	B	概ね期待どおりの成果あり	B	概ね期待どおりの成果あり	比較的順調
2 教育 ① 子どもたちみんなが楽しく学べる学校をつくる (第1給食センター)	B	概ね期待どおりの成果あり	B	概ね期待どおりの成果あり	B	概ね期待どおりの成果あり	比較的順調

施策名	政策4 のびのびと社会にはばたく人が育つまちづくり						
主要事業	自己評価		内部評価		外部評価		総合評価
個別目標・主要施策	評価指標		評価指標		評価指標		施策の進捗状況
2 教育 ① 子どもたちみんなが 楽しく学べる学校を つくる (第2給食センター)	B	概ね期待ど おりの成果 あり	B	概ね期待ど おりの成果 あり	B	概ね期待ど おりの成果 あり	比較的順調
3 生涯学習・スポー ツ・文化芸術 ① 生きがいや喜びを味 わえる生涯学習環境 をつくる (生涯学習課)	B	概ね期待ど おりの成果 あり	B	概ね期待ど おりの成果 あり	B	概ね期待ど おりの成果 あり	比較的順調
3 生涯学習・スポー ツ・文化芸術 ② スポーツやレクリエ ーション活動に親し むまちをつくる (スポーツ振興課)	B	概ね期待ど おりの成果 あり	B	概ね期待ど おりの成果 あり	B	概ね期待ど おりの成果 あり	比較的順調

4 点検及び評価を受けて

内部評価の結果は、6つの個別目標全てを「B：概ね期待どおりの成果あり」としましたが、外部評価委員会による外部評価においても同様の評価を得ました。総合評価では、全ての施策において、「比較的順調」という結果でした。

教育委員会の所管は、学校教育、生涯学習、文化・芸術、スポーツ、歴史・文化財と多岐に及びます。今年度の「点検及び評価報告」を基に、P（計画）D（実行）C（評価）A（改善）サイクルを確立し、事業の選択と集中を進めることにより、一層効率的な事務執行に努めて参ります。

また、「点検及び評価報告」の議会への報告及び市民への公表は、教育委員会事務の説明責任を求められたものであり、本制度により教育委員会の基本方針をより分かりやすく、丁寧に説明をして参りたいと考えています。

施策の概要	
基本目標(政策)	2 ふるさとの自慢を未来に継ぐまち
個別目標(達成方針)	2-1 豊かな歴史・文化的遺産を守り、未来に継ぐ[8歴史・文化財]
主要施策	2-1-1 貴重な文化財を守る
	2-1-2 文化財保護意識の啓発・育成をすすめる

担当部名	教育委員会
担当課名	歴史文化財センター

単位:千円

主要施策を構成する事務事業の内容 (Plan)		
事務事業名	事業概要	終期
文化財一般管理事業	・H26年度に、市指定文化財の答申が2件あり、指定はH27年4月の予定。 ・12月19日に「長野銘醸酒蔵等」が、登録有形文化財に登録された。	-
重要伝統的建造物群保存推進事業	・H26年12月10日に、国の重要伝統的建造物群保存地区の選定となる。 ・今後、防災計画を含めた整備計画の策定を図る。	-
名勝・史跡整備事業	・名勝「姨捨(田毎の月)」上埴石地区の農道、水路等整備。 ・棚田地区の案内標柱、説明板の整備を文化的景観保護推進事業で実施。	H28
松田家資料整備事業	・H26年4月に、「松田家斎館」が、県宝指定された。 ・松田家長屋門の整備工事を完了。	H29
古墳館管理運営事業	・森將軍塚古墳葺石の補修工事を実施。	H27

コスト(Do1)	
H26決算見込	H27予算
3,353	4,614
2,328	12,435
28,210	2,680
31,270	1,480
39,974	22,500
合計	合計
105,135	43,709

成果指標の達成度(Do2) ★は「総合計画」の成果指標		達成率A/B(△の場合B/A)						
成果指標名(活動内容)	目指す方向	実績値(A:直近の実績)				目標値 H28(B)	達成率 A/B	達成状況
		基準値(年度)	H24	H25	H26			
★歴史・文化的遺産の整備・継承について「まあ満足」以上と感じている市民の割合	上昇★	53.2%(H23)	57.3%	54.0%	53.7%	60.0%	89.5%	▲
その他の達成状況								
重要無形民俗文化財「雨宮の神事芸能」民俗文化財調査事業を実施(H25~27)								

主要施策の現状評価(Check)			
A:期待以上の成果あり	○	B:概ね期待どおりの成果あり	C:期待をやや下回る
			D:期待をかなり下回る

事務事業の見直し・改善策 (Action)					
見直し・改善の着眼点		選択肢			判定
必要性	実施主体は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	住民からの要望があるか	a 強い要望あり	b 要望あり	c ほとんど要望はない	b
有効性	主要施策に対する貢献度は	a 高い	b 普通	c 低い	a
	指標達成に向けての有益性は	a 高い	b 普通	c 低い	a
効率性	コスト効率は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	受益者負担は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	-
その他	安全管理は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	環境へ配慮は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	環境配慮を実施した内容(上記を選択した根拠)	名勝・史跡整備事業では、特に景観に配慮した工法により施工。			
事業名	課題	改善計画(見直し・改善内容)			
重要伝統的建造物群保存推進事業	・重要伝統的建造物群保存には、所有者・地域住民の理解と協力が必要となる。 ・空き家が多く、所有者の協力が得られにくい。	・説明会やパンフレット等により、少しでも理解と協力を求めていきたい。 ・建物修理実績の積み上げ(年数)を行ってまいりたい。			
名勝・史跡整備事業	・耕作の担い手確保が課題。	・姨捨地区の整備計画を策定してまいりたい。 ・整備計画では、担い手確保のソフト事業も計画してまいりたい。			
松田家資料整備事業	・財源難から事実上、事業が中断となっている。財源確保が最大の課題である。 ・H17年度から着手し、10年経過しているので早期の公開が望まれる。	・建物修理事業はほぼ完成しているため、入口部の整備を行い早く一般公開できるよう進めてまいりたい。			
古墳館管理運営事業(古墳の補修事業)	・今後の整備工事では、石工の確保が課題。 ・今回の補修工事は、完成後20数年で実施。今後も定期的な補修が必要となる。	・整備後の維持管理や定期的な補修が必要となるので、財源確保に努めたい。			

内部評価(「主要施策」全体に対する評価及び課題の総括)	
B	・歴史・文化的遺産の保護をしていくことは、次世代への遺産継承として重要である。 また、遺産を地域振興や観光資源として活用していくことが大事である。 ・千曲川左岸、川西地区の歴史・文化的遺産の活用を図るため、「千曲市歴史的風致維持向上計画」の策定を行ってまいりたい。

外部評価(外部評価委員の意見)	
B	稲荷山などで市民活動団体ができ、文化財保護のための活動をしている。このような市民の動きに対して市はどうか対応しているかも評価対象としてほしい。

施策の概要	
基本目標(政策)	4 のびのびと社会にはばたく人が育つまち
個別目標(達成方針)	4-2 子どもがのびやかに育ち、生きる力をはぐむ環境をつくる【20教育】
主要施策	4-2-1 子どもたちみんなが楽しく学べる学校をつくる

担当部名
担当課名
教育委員会
教育総務課

単位:千円

主要施策を構成する事務事業の内容 (Plan)		
事務事業名	事業概要	終期
情報教育センター運営事業費	情報教育センター機器の充実により、効率的な校務支援、効果的な学習支援を実現し、教育活動の質の改善を図ります。	-
不登校対策支援事業費	不登校対策の総合的な推進を図ります。	-
情報教育設備整備事業費(小学校・中学校)	各種情報端末、デジタル機器等の活用により、児童生徒に「分かる授業」「楽しい授業」を展開します。	-
施設整備事業費(小学校)	小学校施設の改修を行います。	-
施設整備事業費(中学校)	中学校施設の改修を行います。	-
戸倉上山田中学校改築事業	建物の老朽化による改築を行います。	H30
更埴中学校改築事業	体育館の老朽化による改築を行います。	H28
第1学校給食センター改築事業	建物の老朽化による移転改築を行います。	H28

コスト(D&I)	
H26決算見込	H27予算
38,412	39,549
16,005	17,183
37,028	39,943
130,403	222,290
14,571	205,000
23,361	438,280
373	377,507
320,828	1,800,700
合計	合計
580,981	3,140,452

成果指標の達成度(Do2) ★は「総合計画」の成果指標		達成率A/B(〳の場合B/A)						
成果指標名(活動内容)	目指す方向	実績値(A:直近の実績)				目標値H28(B)	達成率A/B	達成状況
		基準値(年度)	H24	H25	H26			
★小中学校の教育環境整備や取り組みについて「まあ満足」以上と感じている市民の割合	上昇↗	41.1%(H22)	38.9%	45.3%	43.6%	60.0%	72.7%	▲
不登校児童の減少を目指す(小学校の在籍比率)	改善↘	0.47%(H22)	0.58%	0.59%	0.52%	0.35%	67.3%	▲
不登校生徒の減少を目指す(中学校の在籍比率)	改善↘	2.14%(H22)	2.48%	2.53%	2.76%	3.00%	108.7%	◎
特別支援教育介助員等配置人数	上昇↗	28人(H22)	35人	34人	35人	28人	125.0%	◎
教育相談(電話、訪問、夜間)件数	上昇↗	249件(H22)	476件	697件	888件	249件	356.6%	◎
小中学校耐震化率	上昇↗	74.0%(H22)	88.6%	90.5%	90.5%	82.0%	110.4%	◎
その他の達成状況								

主要施策の現状評価(Check)			
A:期待以上の成果あり	○ B:概ね期待どおりの成果あり	C:期待をやや下回る	D:期待をかなり下回る

事務事業の見直し・改善策(Action)					
見直し・改善の着眼点		選択肢			判定
必要性	実施主体は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	住民からの要望があるか	a 強い要望あり	b 要望あり	c ほとんど要望はない	a
有効性	主要施策に対する貢献度は	a 高い	b 普通	c 低い	a
	指標達成に向けての有益性は	a 高い	b 普通	c 低い	a
効率性	コスト効率は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	受益者負担は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	-
その他	安全管理は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	環境へ配慮は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
環境配慮を実施した内容(上記を選択した根拠)		学校の改築、耐震工事は、市公共工事環境配慮マニュアルに沿って施行			

事業名	課題	改善計画(見直し・改善内容)
情報教育設備整備事業費(小学校・中学校)	学力向上にはICTの活用が効果的であり普通教室でのICT化が課題であります。	小学校1、2、3年生の普通教室に、備え付けの Projektor、書画カメラ、デジタル教科書の配置をしていきたいと考えています。(※小学校4、5、6年は配置済)
不登校対策支援事業費	不登校の予防・早期発見・早期対応をはじめ、不登校児童生徒に対し、よりいっそうの支援を行うため各校の特別支援教育コーディネーターを中心とした情報交換の場を活用し、小・中学校と関係機関が一体となった取り組みが必要であります。	・不登校児童生徒を支援するため、中間教室を5箇所設置し、適応指導員を配置しました。 ・支援を必要とする児童生徒の早期発見・早期対応のための教育相談やサポートをするために、総合教育センター内に配置した相談員を主体に2名のスクールカウンセラーとも綿密な連携を図ります。

内部評価(「主要施策」全体に対する評価及び課題の総括)	
B	各施策とも、概ね順調に推移していますが、引き続き学力向上の推進、不登校対策、発達障害児対策、学校の改築・耐震化等を計画的に進める必要があります。

外部評価(外部評価委員の意見)	
B	成果指標の「不登校児童の減少を目指す(中学校の在籍比率)」の目標値が基準年より増えてしまっている。目標は「0」でいい。「0」を目指すにあたっての中間目標(指標)・政策などが必要である。

施策の概要	
基本目標(政策)	4 のびのびと社会にはばたく人が育つまち
個別目標(達成方針)	4-2 子どもがのびやかに育ち、生きる力をはぐくむ環境をつくる【20教育】
主要施策	4-2-1 子供たちみんなが楽しく学べる学校をつくる

担当部名	
担当課名	教育委員会
	第1学校給食センター

単位:千円

主要施策を構成する事務事業の内容 (Plan)		
事務事業名	事業概要	終期
第1学校給食センター管理運営事業	新センターの稼働に向けて事業を推進すると共に、現センターの維持管理に万全を期し安心安全な給食の提供に努める。	-
給食提供事業	地元食材の活用を図るとともに、栄養バランスに配慮した安全安心な給食を児童生徒に提供する。(3,578食提供)	-
衛生管理事業	調理員・食材の衛生管理、健康管理を徹底し食中毒の防止、安全安心な給食の提供に努める。	-
食育推進事業	食に対する正しい知識、望ましい食習慣を身につけさせるため、栄養士・学校と連携し食育を推進する。	-
アレルギー食対応事業	アレルギーを持つ児童生徒に対し、アレルゲンの除去、又は対応食を提供する。	-

コスト(D01)	
H26決算見込	H27予算
252,315	337,306
合計	合計
252,315	337,306

成果指標の達成度(D02) ★は「総合計画」の成果指標		実績値(A:直近の実績)			達成率A/B(\\の場合B/A)			
成果指標名(活動内容)	目指す方向	基準値(年度)			目標値 H28(B)	達成率 A/B	達成状況	
		H24	H25	H26				
★食材の地場産物使用度	上昇↗	49.0%(H22)	38.7%	33.3%	53.1%	55.0%	96.5%	○
食中毒事故件数・労災事故件数	改善↘	1件(H22)	0件	2件	1件	0件	0.0%	○
1日当たりの残菜量	改善↘	49kg(H22)	21kg	21kg	23kg	50kg	217.4%	◎
アレルギー対応食事事故件数	維持↔	0件(H22)	0件	0件	0件	0件	100.0%	◎
その他の達成状況								
・調理員の衛生管理、健康管理を徹底し、食中毒の防止、安全安心な給食の提供に努めた。 (職員の保菌検査(月2回)、食品の細菌検査(月1回)、ノロウイルス検査・調理室・器具の消毒) ・栄養士を中心に食育指導に努めた。(給食指導・栄養指導・学校訪問・食育便りの配布等)								

主要施策の現状評価(Check)			
A:期待以上の成果あり	○	B:概ね期待どおりの成果あり	C:期待をやや下回る
			D:期待をかなり下回る

事務事業の見直し・改善策 (Action)					
見直し・改善の着眼点		選択肢			判定
必要性	実施主体は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	住民からの要望があるか	a 強い要望あり	b 要望あり	c ほとんど要望はない	a
有効性	主要施策に対する貢献度は	a 高い	b 普通	c 低い	a
	指標達成に向けての有益性は	a 高い	b 普通	c 低い	a
効率性	コスト効率は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
	受益者負担は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	安全管理は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
その他	環境へ配慮は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
	環境配慮を実施した内容(上記を選択した根拠) ・残菜一部焼却 ・野菜の地産地消率低い ・重油ボイラー使用				
事業名	課題	改善計画(見直し・改善内容)			
給食提供事業	より安全・安心な給食の提供	施設の改築			
衛生管理事業	調理員の健康管理	家族も含めた健康管理			
食育推進事業	食育推進のため、地域食材の活用を図る	地元食材の調達拡大に努める			
アレルギー食対応事業	アレルゲンの混入防止	専門調理室の設置は現施設では設置困難なため、調理員全員でアレルゲンの混入を防止する			

内部評価(「主要施策」全体に対する評価及び課題の総括)	
B	・徹底した衛生管理の下、安心・安全な給食の提供に努めている。 ・アレルギーを持つ児童生徒に対しても、専門栄養士により対応食の提供に努めている。 ・食育の推進に努め、食材の確保など課題はあるが地産地消を推進している。 ・センター改築事業にあたっては、関係課等と連携し早期稼働に努める。

外部評価(外部評価委員の意見)	
B	成果指標の「1日当たりの残菜量」の目標値が基準年より増えてしまっている。目標は「0」がいい。「0」を目指すにあたっての中間目標(指標)・政策などが必要である。

施策の概要	
基本目標(政策)	4のびのびと社会にはばたく人が育つまち
個別目標(達成方針)	4-2 子どものびやかに育ち、生きる力をはぐくむ環境をつくる【20教育】
主要施策	4-2-1 子供たちみんなが楽しく学べる学校をつくる

担当部名	
担当課名	
教育委員会	
第2学校給食センター	

単位:千円

主要施策を構成する事務事業の内容 (Plan)		
事務事業名	事業概要	終期
第2学校給食センター管理運営事業	給食センターの施設、設備の改修を行い、学校給食の安定供給、衛生管理の向上を図ります。	-
給食提供事業	栄養バランスに配慮した安全安心な給食を児童生徒に提供する。(2,067食提供)	-
衛生管理事業	調理員・食材の衛生管理、健康管理を徹底し食中毒の防止、安全安心な給食の提供に努める。	-
食育推進事業	食に対する正しい知識、望ましい食習慣を身につけさせるため、栄養士・学校と連携し食育を推進する。	-
アレルギー食対応事業	アレルギーを持つ児童生徒に対し、アレルゲンの除去、又は対応食を提供する。	-

コスト(Do1)	
H26決算見込	H27予算
161,194	165,549
合計	合計
161,194	165,549

成果指標の達成度(Do2)		★は「総合計画」の成果指標				達成率A/B(△の場合B/A)		
成果指標名(活動内容)	目指す方向	実績値(A:直近の実績)			目標値H28(B)	達成率A/B	達成状況	
		基準値(年度)	H24	H25				H26
★食材の地場産物使用度	上昇↗	49.0%(H22)	74.1%	56.9%	53.0%	55.0%	96.4%	○
食中毒事故件数・防災事故件数	維持→	0件(H22)	0件	0件	0件	0件	100.0%	◎
1日当たりの残菜量	改善↘	18kg(H22)	8kg	7kg	9kg	20kg	222.2%	◎
アレルギー対応食事故件数	維持→	0件(H22)	0件	0件	0件	0件	100.0%	◎
その他の達成状況								
<ul style="list-style-type: none"> 調理員の衛生管理、健康管理を徹底し、食中毒の防止、安全安心な給食の提供に努めた。(職員の保菌検査(月2回)・食品の細菌検査(月1回)・調理室の消毒) 栄養士を中心に食育指導に努めた。(給食指導・栄養指導・学校訪問・食育便りの配布等) アレルギー専門栄養士による対応食の提供に努めた。(平成26年度対象者37名) 								

主要施策の現状評価(Check)			
A:期待以上の成果あり	○	B:概ね期待どおりの成果あり	C:期待をやや下回る
			D:期待をかなり下回る

事務事業の見直し・改善策 (Action)					
見直し・改善の着眼点		選択肢			判定
必要性	実施主体は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	住民からの要望があるか	a 強い要望あり	b 要望あり	c ほとんど要望はない	a
有効性	主要施策に対する貢献度は	a 高い	b 普通	c 低い	a
	指標達成に向けての有益性は	a 高い	b 普通	c 低い	a
効率性	コスト効率は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
	受益者負担は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
その他	安全管理は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
	環境へ配慮は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
環境配慮を実施した内容(上記を選択した根拠)		<ul style="list-style-type: none"> 灯油ボイラー使用のためCO2を排出 残菜の一部を焼却・野菜の地産地消率が低い 			
事業名	課題	改善計画(見直し・改善内容)			
給食提供事業	食中毒等事故防止	施設の改修			
衛生管理事業	調理員の健康管理	家族も含めた健康管理			
食育推進事業	安心安全な給食提供と地域食材を活用した食育の推進	地元食材(特に野菜)の調達拡大に努める			
アレルギー食対応事業	アレルゲンの混入防止	専門調理室の設置(現施設では設置困難)			

内部評価(「主要施策」全体に対する評価及び課題の総括)	
B	<ul style="list-style-type: none"> 徹底した衛生管理の下、安心・安全な給食の提供に努めている。 アレルギーを持つ児童生徒に対しても、専門栄養士により対応食の提供に努めている。 今後は、更に食育の推進に努めるとともに、食材の一定量の確保など課題はあるが、地産地消を推進していく。

外部評価(外部評価委員の意見)	
B	<p>成果指標の「1日当たりの残菜量」の目標値が基準年より増えてしまっている。目標は「0」がいい。「0」を目指すにあたっての中間目標(指標)・政策などが必要である。</p>

施策の概要	
基本目標(政策)	4 のびのびと社会にはばたく人が育つまち
個別目標(達成方針)	4-3 学びや芸術・スポーツを通じ、人と地域の魅力を高める【21生涯学習・スポーツ・文化芸術】
主要施策	4-3-1 生きがいや喜びを味わえる生涯学習環境をつくる

担当部名	
担当課名	
教育委員会	
生涯学習課	

単位:千円

主要施策を構成する事務事業の内容 (Plan)		
事務事業名	事業概要	終期
図書館管理運営事業 (更埴、戸倉図書館)	図書館施設の安心・安全な利用のための施設整備を行う。 (職員人件費、図書館システム保守点検、TRCマーク使用料、移動図書館車の更新等含む)	-
「子ども読書活動推進計画」事業	「子ども読書活動推進計画」に基づき、「読み聞かせ講座」の開催や読み聞かせボランティアと連携した事業を行い、心豊かに成長する子どもの育成を図る。 (おはなし会、園児訪問、図書館利用説明会、ブックスタート、職場体験等含む)	-
資料貸出し事業	市民の読書環境の向上や利便性を図る。 (図書、視聴覚資料、雑誌・新聞購入等)	-
講座(通年・短期)イベント運営事業	講座や各種イベントを開催し、市民の教養、興味等の向上を図る。	-

コスト(Do1)	
H26決算見込	H27予算
31,042	46,407
309	385
13,402	13,550
233	307
合計	合計
44,986	60,649

成果指標の達成度(Do2)		★は「総合計画」の成果指標				達成率A/B(△の場合B/A)		
成果指標名(活動内容)	目指す方向	実績値(A:直近の実績)				目標値 H28(B)	達成率 A/B	達成 状況
		基準値(年度)	H24	H25	H26			
★生涯学習やスポーツ・文化芸術の機会の充実について「まあ満足」以上と感じている市民の割合	上昇↗	46.8%(H22)	47.3%	46.5%	43.8%	60.0%	73.0%	○
貸出冊数	上昇↗	344,519冊(H22)	335,069冊	324,522冊	323,561冊	360,000冊	89.9%	○
登録者数	上昇↗	27,991人(H22)	30,020人	31,051人	8,884人	30,000人	29.6%	▲
講座・イベント開催数	維持→	44回(H22)	51回	60回	50回	50回	100.0%	◎
その他の達成状況								
登録者数については、合併前の1市2町における登録者数の合計を基としていたが、昨年9月に利用カードの更新を行い、実績値が減少したため達成率が大幅に下がった。								

主要施策の現状評価(Check)			
A:期待以上の成果あり	○	B:概ね期待どおりの成果あり	C:期待をやや下回る
			D:期待をかなり下回る

事務事業の見直し・改善策(Action)					
見直し・改善の着眼点		選択肢			判定
必要性	実施主体は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	住民からの要望があるか	a 強い要望あり	b 要望あり	c ほとんど要望はない	b
有効性	主要施策に対する貢献度は	a 高い	b 普通	c 低い	a
	指標達成に向けての有益性は	a 高い	b 普通	c 低い	a
効率性	コスト効率は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	受益者負担は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	-
その他	安全管理は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	環境へ配慮は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	環境配慮を実施した内容(上記を選択した根拠)	除籍本のリサイクル実施			
事業名	課題	改善計画(見直し・改善内容)			
「子ども読書活動推進計画」事業	おはなし会の内容の充実と参加者増加 読み聞かせボランティアの活用方法	読み聞かせボランティアの育成及び職員の研修機会の増加 おはなし会参加を呼びかける広報の充実			
資料貸出し事業	適正な登録者数について 情報機器の普及のためか、貸出冊数が減少傾向にある。	利用カードの更新を行い、旧データは削除した。 本に親しむ機会を増やすなど、図書館利用を呼びかける広報の充実			

内部評価(「主要施策」全体に対する評価及び課題の総括)	
B	総合計画に基づき事業が推進できている。また、26年度において「子ども読書活動推進計画」の見直しを行った。 住民ニーズを的確に把握し、各種事業を実施するとともに、学んだ知識を地域に活かせる体制の整備を図る。

外部評価(外部評価委員の意見)	
B	図書館職員の対応の仕方も利用者の減少の一因ではないか。貸出冊数を増やすための具体的な対策を講じること。

施策の概要	
基本目標(政策)	4 のびのびと社会にはばたく人が育つまち
個別目標(達成方針)	4-3 学びや芸術・スポーツを通じ、人と地域の魅力を高める【21生涯学習・スポーツ・文化芸術】
主要施策	4-3-2 スポーツやレクリエーション活動に親しむまちをつくる

担当部名	
担当課名	
教育委員会	
スポーツ振興課	

単位:千円

主要施策を構成する事務事業の内容(Plan)		
事務事業名	事業概要	終期
体育施設整備事業	体育施設の必要な改修工事や、安全・快適に利用できるよう施設整備を行う。	-
各種体育大会開催事業費	市民体育祭などの各種大会を開催し、幅広い世代の住民参加を促すとともに、競技スポーツ・生涯スポーツを通じて市民みなスポーツを推進する。	-

コスト(Do1)	
H26決算見込	H27予算
7,534	160,000
4,239	4,689
合計	合計
11,773	164,689

成果指標の達成度(Do2) ★は「総合計画」の成果指標		達成率A/B(△の場合B/A)						
成果指標名(活動内容)	目指す方向	実績値(A:直近の実績)				目標値 H28(B)	達成率 A/B	達成 状況
		基準値(年度)	H24	H25	H26			
★スポーツ活動を週に一回上行っている成人の割合	上昇↗	44.0%(H22)	44.0%	50.4%	50.4%	50.0%	100.8%	◎
★市民一人あたりのスポーツ施設利用回数	上昇↗	5.5回(H22)	6.5回	6.4回	6.2回	6.6回	93.9%	○
チャレンジスポーツ教室、ニュースポーツ・軽スポーツの出前講座開催数	上昇↗	24回(H22)	23回	27回	45回	27回	166.7%	◎
その他の達成状況								

主要施策の現状評価(Check)			
A:期待以上の成果あり	○	B:概ね期待どおりの成果あり	C:期待をやや下回る
			D:期待をかなり下回る

事務事業の見直し・改善策(Action)					
見直し・改善の着眼点		選択肢			判定
必要性	実施主体は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
	住民からの要望があるか	a 強い要望あり	b 要望あり	c ほとんど要望はない	a
有効性	主要施策に対する貢献度は	a 高い	b 普通	c 低い	b
	指標達成に向けての有益性は	a 高い	b 普通	c 低い	b
効率性	コスト効率は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
	受益者負担は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
その他	安全管理は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
	環境へ配慮は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
	環境配慮を実施した内容(上記を選択した根拠)				
事業名	課題	改善計画(見直し・改善内容)			
体育施設整備事業	計画的な修理により経費削減に努めているが、施設全体の老朽化に伴う突発的な修理が発生している。	緊急度・危険度の高い施設修理に係る優先順位の再検討を行う。大規模改修にあたっては、全体計画を策定し費用対効果も考慮しながら進める。			
各種体育大会開催事業費	成人のスポーツ実施率は増加したが、施設利用回数は減少傾向にある。	「してみたい運動」にウォーキングがトップに挙げられているが、施設を利用するニュースポーツ等の一層の普及により施設利用の拡大を図る。			

内部評価(「主要施策」全体に対する評価及び課題の総括)	
B	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じ健康増進を図るために、スポーツ実施率の向上や、ニュースポーツ(ワンバウンドふらわーるバレー等)、軽スポーツなど参加しやすい事業の導入をより一層推進していく。 ・新庁舎建設に伴う新更埴体育館建設の基本計画を策定したが、要望の高い新規の施設を含めた既存のスポーツ施設全般にわたって、施設管理計画と整合性を持った整備計画の策定が必要である。

外部評価(外部評価委員の意見)	
B	市の自己評価・内部評価は妥当である。

H27行政評価意見【内部評価・外部評価】

※評価 A:期待以上の成果あり B:概ね期待どおりの成果あり C:期待をやや下回る D:期待をかなり下回る

主要施策	自己評価	内部評価	外部評価
2 ふるさとの自慢を未来に継ぐまちづくり			
1 歴史・文化財 ①貴重な文化財を守る ②文化財保護意識の啓発・育成をすすめる	B	4歴史文化財センター B ・歴史・文化的遺産の保護をしていくことは、世代への遺産継承として重要である。また、遺産を地域振興や観光資源として活用していくことが大事である。 ・千曲川左岸、川西地区の歴史・文化的遺産の活用を図るため、「千曲市歴史的風致維持向上計画」の策定を行ってみたい。	B ・稲荷山などで市民活動団体ができ、文化財保護のための活動をしている。このような市民の動きに対して市はどうか対応しているかも評価対象としてほしい。
4 のびのびと社会にはばたく人が育つまちづくり			
2 教育 ①子どもたちがみんなが楽しく学べる学校をつくる	B	11教育総務課 B ・各施策とも、概ね順調に推移していますが、引き続き学力向上の推進、不登校対策、発達障害児対策、学校の改築・耐震化等を計画的に進める必要があります。	B ・成果指標の「不登校児童の減少を目指す(中学校の在籍比率)」の目標値が基準年より増えてしまっている。目標は「0」でいい。「0」を目指すにあたっての中間目標(指標)・政策などが必要である。
2 教育 ①子どもたちがみんなが楽しく学べる学校をつくる	B	12第1給食センター B ・徹底した衛生管理の下、安心・安全な給食の提供に努めている。 ・アレルギーを持つ児童生徒に対しても、専門栄養士により対応食の提供に努めている。 ・食育の推進に努め、食材の確保など課題はあるが地産地消を推進している。 ・センター改築事業にあたっては、関係課等と連携し早期稼働に努める。	B ・成果指標の「1日当たりの残菜量」の目標値が基準年より増えてしまっている。目標は「0」でいい。「0」を目指すにあたっての中間目標(指標)・政策などが必要である。
2 教育 ①子どもたちがみんなが楽しく学べる学校をつくる	B	13第2給食センター B ・徹底した衛生管理の下、安心・安全な給食の提供に努めている。 ・アレルギーを持つ児童生徒に対しても、専門栄養士により対応食の提供に努めている。 ・今後は、更に食育の推進に努めるとともに、食材の一定量の確保など課題はあるが、地産地消を推進していく。	B ・成果指標の「1日当たりの残菜量」の目標値が基準年より増えてしまっている。目標は「0」でいい。「0」を目指すにあたっての中間目標(指標)・政策などが必要である。
3 生涯学習・スポーツ・文化芸術 ①生きがいや喜びを味わえる生涯学習環境をつくる	B	14生涯学習課 B ・総合計画に基づき事業が推進できている。また、26年度において「子ども読書活動推進計画」の見直しを行った。 ・住民ニーズを的確に把握し、各種事業を実施するとともに、学んだ知識を地域に活かせる体制の整備を図る。	B ・図書館職員への対応の仕方も利用者の減少の一因ではないか。貸出冊数を増やすための具体的な対策を講じること。
3 生涯学習・スポーツ・文化芸術 ②スポーツやレクリエーション活動に親しまちをつくる	B	15スポーツ振興課 B ・スポーツを通じ健康増進を図るために、スポーツ実施率の向上や、ニュースポーツ(ワンバウンドふらわーるバレー等)、軽スポーツなど参加しやすい事業の導入をより一層推進していく。 ・新庁舎建設に伴う新更替体育館建設の基本計画を策定したが、要望の高い新規の施設を含めた既存のスポーツ施設全般にわたって、施設管理計画と整合性を持った整備計画の策定が必要である。	B ・市の自己評価・内部評価は妥当である。

6 資料

(1) 教育委員

役 職 名	氏 名	住 所
委 員 長	赤 地 憲 一	内 川
同 職 務 代 理 者	若 林 由 美 子	杭 瀬 下
委 員	田 島 仁	上 山 田
委 員	西 澤 民 雄	羽 尾
委 員	武 井 音 兵 衛	八 幡
教 育 長	吉 川 弘 義	屋 代

(平成27年4月1日現在)

(2) 教育委員会基本方針

「千曲市総合計画・後期基本計画（H24年度～H28年度）」では、将来都市像を「千曲の魅力と多彩な力が未来を拓く躍動の都市」とし、この将来都市像を具現化するため6つの基本目標があります。どの基本目標も教育と関連がありますが、

基本目標①「支え合い、元気に暮らすまち」

基本目標②「ふるさとの自慢を未来に継ぐまち」

基本目標④「のびのびと社会にはばたく人が育つまち」

が特に教育委員会にかかわりがあります。これらを具体的に進めるため、基本目標等に基づき教育委員会として各個別計画の策定を行いましたので、今後は計画に沿って着実に施策を進めて参ります。

○子どもがのびやかに育ち、生きる力を育む環境をつくる

子どもたち一人ひとりが将来において、その可能性を開花させ、自らの人生を幸福に過ごすことができるための基礎力を身につけさせることが教育の役割です。

これからの子どもたちが個性や能力を生かし、自立した人間として生きていくためには、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」などのバランスの取れた「生きる力」を育成することが大切です。そのために、学校、家庭、地域との連携強化を進め、小中学校の現場における教育力の向上と学校支援体制の整備を図り、いじめや体罰のない信頼される学校

づくりに努めます。

また、不登校や特別な支援を必要とする子ども達への対策として、総合教育センターを中心に教育相談・就学相談体制の充実を図るとともに、教育支援室を中心に幼・保・小・中の連携のもと不登校予防や各発達段階における適切な指導・支援体制の整備を図ります。

一人一人の社会的職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促すキャリア教育の推進を図ります。

学校給食については、安全で安心な給食の提供と学校給食を「生きた教材」として活用し、望ましい食習慣が身につくように努めます。

児童・生徒が、安心していきいきとした学習や生活ができるよう、引き続き安全で快適な教育施設の整備を進めるとともに、信頼される学校づくりのために、地域との連携を進めながら地域に開かれた学校づくりに努めます。

子どもたちの放課後の安全・安心な生活や活動の場を確保するために、放課後児童クラブ、児童館、児童センターの利便性の向上を図るとともに、子どもたちと地域の人たちが触れ合える機会を創出する「子どもの居場所づくり事業」などを一体的に進めるとともに、家庭のしつけ講座の開催、子どもを取り巻く有害環境の排除に努めます。

これら「千曲市総合計画」の基本理念を具現化するために、平成21年3月に策定した中期ビジョン「千曲市教育振興基本計画（千曲っ子教育ビジョン）」（H21年度～H30年度）に掲げた、3つの基本施策「楽しく学べる学校」「家庭・地域が一体となった学校」「地域で青少年をはぐくむ風土」を視点にすえ、具体的な施策に取り組んで参ります。また同基本計画の前期が経過したことから今年度において必要な見直しを行います。

○学びや文化芸術・スポーツを通じ、人と地域の魅力を高める

市民一人ひとりが自己を高め、生きがいを創出し、心豊かな人生を送ることができるよう、生涯学習は大きな役割を果たしています。

生涯学習は、学校教育のみならず、乳幼児から高齢者まで、その生涯にわたって自らの意志により、いつでも、どこでも、だれでもが自由に行われる継続的な学習活動であり、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができるよう体制を整えていく必要があります。さらには、その学びの成果が社会や地域に適切に生かされるよう環境の整備をしていくことも大切です。

そのため、「千曲市生涯学習基本構想・基本計画」（H21年度～H30年度）中間見直しを行い、生きがいや喜びを味わえる生涯学習環境の構築や、多様な世代の学習活動への支援を進めます。また、市民の学習ニーズに応えるため、公民館や図書館などの充実を図るとともに、「千曲市子ども読書活動推進計画」（H22年度～H26年度）に掲げる具体的な施策の推進を図ります。

多文化共生社会の実現に向け、異文化理解の推進や外国籍市民への支援を進めていくと共に、国際感覚豊かな人材育成のため、「異文化を理解し豊かな国際性を育むために」多文化共生の推進を図ります。

スポーツ推進事業は、昨年度、中間見直しをした「千曲市スポーツ推進基本計画（H26年

度～H30年度)に基づき、市民がスポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことができるよう、生涯にわたりあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的かつ自立的にその適正及び健康状態に応じて行なえる環境整備を進めるとともに、スポーツツーリズムを推進し、地域の特色を活かしたイベントの開催や施設整備を行います。

また、「スポーツ健康・都市」の実現に向け「スポーツ推進委員会」や「市体育協会」「総合型地域スポーツクラブ」また、千曲市に拠点を置くプロバスケットチーム「信州プレイブウォリアーズ」など、関連する団体の育成、支援を行い、連携を図ります。

また、体育施設運営については、長期的な視野に立ち、施設のあり方を検討するとともに、現在管理運営する施設について、指定管理者制度や市民協働、受益者負担などの考え方を研究しながら、更に合理的で経済的な運営方法を検討して参ります。

文化芸術は、ゆとりと潤いの実感できる心豊かな市民生活を実現していく上で不可欠なものであり社会的財産と言えます。そして、その振興が地域経済とも密接に連携し、活力と魅力あるまちづくりに繋がるのが広く認識されています。

市では、「千曲市文化会館運営委員会」などを通じて「千曲市文化芸術振興基本計画」(H24年度～H27年度)の基本理念、基本目標に沿って計画に示された展開例を踏まえ施策の具現化に努めて参ります。また、「千曲市文化芸術協会」と密接に連携しながら千曲市の文化芸術活動の向上に努めます。

○豊かな歴史・文化的遺産を守り、未来に継ぐ

千曲市の文化財は、まちの歴史や文化を正しく理解するためになくしてはならないものであると同時に、将来の文化の向上発展の基礎となるものです。また、その価値が損なわれると回復ができない、貴重な国民共有の財産です。

貴重な文化財を守るため、重要文化的景観に選定された「姨捨の棚田」をはじめとする指定文化財の保存・継承と、長野県宝「松田家住宅主屋」などの歴史的建造物の保護を図るとともに、千曲市の歴史・文化的な魅力を幅広く情報発信します。

また、稲荷山地区の伝統的建造物群保存地区選定に向けた取り組みを実施するなど、市内の文化財や歴史遺産の調査・保存を積極的に進めます。併せて、文化財保護意識の啓発・育成を進めるため、博物館など文化財施設の充実並びに史跡公園等の適正管理に努めます。

○人を大切にし、差別のないまちをつくる

憲法や教育基本法の精神にのっとり、学校教育・社会教育を通じて人権尊重の意識を高める教育を推進することは重要なことです。

「人権とくらしに関する総合計画」に基づき、学校や公民館等の教育の場で人権についての教育・啓発を進め、いじめや差別をなくしてすべての人の人権が守られるよう人権教育を推進します。

(3) 平成26年度 教育委員会議及び議決案件一覧

①委員会の開催状況 定例会12回 臨時会2回

②委員会の議決事項

年月日	議案・報告・専決 番号	議 案 名
第1回定例会 (H26.4.30)	議案	1 千曲市総合教育センター企画運営委員会委員の委嘱について
		2 千曲市公民館運営審議会委員の委嘱について
		3 千曲市水辺の楽校運営委員会委員の委嘱について
		4 千曲市文化財保護審議会委員の委嘱について
		5 千曲市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について
		6 千曲市文化財調査員の委嘱について
		7 平成26年度教育施設工事・修繕計画調書について
	報告	1 平成25年度文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)受彰都市の決定について
		2 平成26年度外国語指導助手の学校配置について
		3 平成25年度JFAこころのプロジェクト「夢の教室」について
		4 教育長、部・各課長報告について
		5 行事の共催・後援について
6 5月の各課の行事予定について		
第2回定例会 (H26.5.30)	議案	8 平成25年度教育委員会事務の点検及び評価報告について
		9 平成26年度千曲市一般会計教育関係予算(6月補正)について
		10 千曲市立図書館協議会委員の任命について
		11 千曲市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
		12 千曲市立学校施設使用条例の一部を改正する条例について
		13 千曲市立学校施設使用条例施行規則の一部を改正する規則について
		14 千曲市スポーツ推進基本計画について
	専決	1 平成25年度千曲市一般会計教育関係予算(専決補正)について
	報告	7 教育長、部・課長報告について
		8 行事の共催・後援について
9 6月の各課の行事予定について		
第3回定例会 (H26.6.30)	議案	15 県教育委員会及び市町村教育委員会相互の任免及び人事等に関する連絡調整について
	専決	2 平成26年度千曲市奨学生の決定について
	報告	10 更埴地区小中学校教科用図書採択研究協議会及び調査研究会の設置について
		11 平成26年6月千曲市議会定例会報告について
		12 教育長、部・各課長報告について
		13 行事の共催・後援について
14 7月の各課の行事予定について		

第4回定例会 (H26. 7. 30)	議案	1 6	更埴地区小中学校教科用図書採択研究協議会及び調査研究会の設置について
		1 7	千曲市稲荷山伝統的建造物群保存地区保存計画の策定について
	報告	1 5	更埴地区中学校部活大綱について
		1 6	教育長、部・各課長報告について
第5回定例会 (H26. 8. 29)	議案	1 8	平成26年度千曲市一般会計教育関係予算(9月補正)について
		1 9	千曲市教育振興基本計画策定委員会委員の委嘱について
	報告	1 9	教育長、部・各課長報告について
		2 0	行事の共催・後援について
第6回定例会 (H26. 9. 24)	議案	2 0	平成26年度教育委員会事務の点検及び評価報告について
		2 2	平成26年度9月千曲市議会定例会報告について
	報告	2 3	教育長、部・各課長報告について
		2 4	行事の共催・後援について
第7回定例会 (H26. 10. 31)	報告	2 6	平成26年度全国学力・学習状況調査の結果の概要について
		2 7	教育長、部・各課長報告について
		2 8	行事の共催・後援について
		2 9	11月の各課の行事予定について
第8回定例会 (H26. 11. 28)	議案	2 1	平成26年度千曲市一般会計教育関係予算(12月補正)について
		2 2	千曲市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
	報告	3 0	千曲市伝統的建造物群保存事業補助金交付要綱の制定について
		3 1	千曲市ふれあい情報館の指定管理者の指定について
		3 2	教育長、部・課長報告について
		3 3	行事の共催・後援について
	3 4	12月の各課の行事予定について	
	選挙		教育委員長の選挙について
第9回臨時会 (H26. 12. 16)	選挙		教育委員長の選挙について
	指定		委員長職務代理者の指定について
第10回定例会 (H26. 12. 18)	報告	3 5	平成26年度12月千曲市議会定例会報告について
		3 6	教育長、部・課長報告について
		3 7	行事の共催・後援について
		3 8	1月の各課の行事予定について
第11回定例会	専決	3	第2次千曲市子ども読書活動推進計画策定委員の決定について

(H27. 1. 30)	報告	3 9 4 0 4 1	教育長、部・課長報告について 行事の共催・後援について 2月の各課の行事予定について
第12回定例会 (H27. 2. 25)	議案	2 3 2 4 2 5 2 6 2 7 2 8 2 9 3 0 3 1 3 2	平成 26 年度千曲市一般会計教育関係予算(3月補正)について 平成 27 年度千曲市一般会計教育関係当初予算について 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について 千曲市教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について 千曲市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例を廃止する条例について 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う関係教育委員会規則の整理に関する規則の制定について 千曲市教育委員会教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する規則の制定について 千曲市教育振興基本計画(後期計画)について 千曲市新更埴体育館建設基本計画について 平成 27 年度小・中学校学級編制届出書の提出について
	報告	4 2 4 3 4 4 4 5 4 6 4 7	公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引 ～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～ 千曲市児童クラブ実施要綱の一部を改正する告示について 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う関係教育委員会規程の整理に関する訓令の制定について 教育長、部・課長報告について 行事の共催・後援について 3月の各課の行事予定について
第13回臨時会 (H27. 3. 9)	議案	3 3 3 4	平成 27 年度教職員人事の内申について 千曲市立学校の学期について
第14回定例会 (H27. 3. 30)	議案	3 5 3 6 3 7 3 8 3 9 4 0 4 1 4 2 4 3	平成 27 年度教育行政の基本方針について 千曲市立学校評議員の委嘱について 千曲市公民館正副館長の任命について 千曲市スポーツ推進委員の委嘱について 千曲市文化財保護審議委員の委嘱について 千曲市文化財調査員の委嘱について 千曲市指定文化財の指定について 第2次千曲市子ども読書活動推進計画について 職員の人事について

		48	千曲市立中学校部活動支援補助金交付要領の制定について
		49	千曲市文化財調査員の退任について
		50	平成26年度3月千曲市議会定例会報告について
	報告	51	平成27年度千曲市教育委員会施設長について
		52	教育長、部・課長報告について
		53	行事の共催・後援について
		54	4月の各課の行事予定について

(4) 教育委員会事務分掌（「平成 26 年度教育要覧」から）

事務局		(H26. 4. 1 現在)
教育総務課	総務係	教育行政に係る企画及び連絡調整 教育財産管理 教育振興基本計画の進行管理 奨学金の貸与 教育行政相談 学校医の委嘱 教育委員会の組織及び会議 寄附採納 教育委員会の広報公聴 表彰及び褒賞 職員の人事と給与 物品及び公印の取扱い・文書の收受 教育予算の調製と経理 教育委員会の庶務関係 規則の制定改廃 課の庶務関係 教職員の任免、内申その他人事
	学校 教育係	教科用図書の採択関係 就学援助 学校の設置及び廃止、財産の管理 教職員住宅管理 学校の組織編成及び学校運営 学校予算及び財務会計 教育課程関係 学習指導、教育活動 学齢簿の整理 特別支援教育 児童生徒の就学 義務教育関係補助金 学校職員の研修 教科書給与事務 生徒指導関係 外国人英語指導助手の任用 情報教育、国際理解教育、小学校外国語活動 不登校対策、その他教育相談、就学相談等 学校職員及び児童生徒の福利、保健安全厚生
	教育 施設係	学校施設及び学校財産の管理 校舎、その他の施設及び設備の整備 学校施設及び設備の整備 学校改築、大規模改造工事 学校環境衛生 教職員住宅解体、撤去
生涯学習課	生涯 学習係	生涯学習基本構想・基本計画の推進 生涯学習推進本部の庶務 社会教育委員及び同会議 社会教育団体の育成 生涯学習の専門的事項等の調査研究等 生涯学習出前講座事業 水辺の楽校の運営 生活運動の推進 社会教育施設の設置、整備、管理、廃止、財産の管理 公民館、図書館との連絡調整 視聴覚教育 ふれあい情報館の指定管理 公民館分館建設事業補助金 生涯学習人材バンクの整備 学校教育と社会教育の連携 国際理解・国際交流に係る事業 坊城平いこいの森施設の管理運営 多文化共生に係る事業 青少年対策に係る施策の企画及び連絡調整 社会教育施設の設置、管理及び廃止並びに財産の管理 子どもの居場所づくり事業 青少年教育団体との連絡調整 家庭教育事業の推進 放課後子ども教室事業の推進 少年育成センター事業の推進 児童館・児童センターの指定管理 原体験の森宿泊研修施設の管理運営 青少年事業の推進
文化課	文化 振興係	文化芸術振興事業計画及び実施 文化施設等の管理運営 文化施設の整備及び連絡調整 その他文化芸術の振興 屋代駅市民ギャラリーの展示運営

スポーツ振興課	スポーツ振興係	社会体育及びスポーツ振興 スポーツ団体等の育成指導 体育大会、スポーツ教室等の開催と奨励 レクリエーション等の企画立案指導 体育施設の維持管理運営 プールの維持管理運営 グラウンド等の維持管理運営 大田原マレットパークの維持管理運営
---------	---------	--

教育機関・施設		
総合教育センター		児童生徒の教育にかかわる相談 就学相談・就学判断 教育相談に関する各機関との連絡 学力向上等教育課題の調査研究 教育ICT活用の推進 学校情報通信ネットワークの運用管理 教職員研修事業の実施 市民の情報学習の支援 教育課程の改善研究 プール等施設の維持管理運営 キャリア教育の推進及び支援
学校給食センター	管理係	物資の調達及び経理 施設整備及び労務管理並びに衛生管理 所要栄養量、食品構成表及び献立作成並びに各種報告 学校給食の向上に必要な調査及び指導、研修
	調理係	調理指導及び衛生指導 調理班の指導監督及び給食調理 配送計画及び指示 物資の検収補助
文化財センター	文化財係	文化財の調査、保護、活用 文化財保護審議会、文化財調査員等 埋蔵文化財の調査、保存、活用 所蔵資料の整理、活用 城山史跡公園、智識の杜公園、森將軍塚古墳館、さらしなの里歴史資料館 等文化財施設管理運営・他文化財収蔵施設の維持管理
公民館	業務係	社会教育事業の計画実施 社会教育関係団体との連絡 生涯学習の推進 その他公民館活動の普及浸透 人権教育の推進 青少年健全育成事業
原体験の森宿泊 研修施設		施設の管理運営
坊城平いこいの森		施設の維持管理
図書館	業務係	施設の維持管理 読書活動推進事業の企画運営 図書館協議会 子ども読書活動推進事業の実施 図書資料の購入・利用事務 読書相談、指導
戸倉創造館	業務係	施設の管理運営、文化情報収集及び広報宣伝 文化芸術活動の支援 舞台業務
更埴文化会館	庶務係	更埴、上山田文化会館の庶務
	業務係	施設の管理運営、自主事業の企画運営 文化情報収集及び広報宣伝 文化芸術活動の支援 舞台業務
上山田文化会館	業務係	施設の管理運営、自主事業の企画運営 文化情報収集及び広報宣伝 文化芸術活動の支援 舞台業務